



相澤久徳 Hisanori Aizawa

時の流れや動きといったものを、一つの場面として切り取り、形態に取り入れることによって、作品全体の中でゆるやかな時の流れや、存在感を感じられるような構成表現となっている。自然石の持っている質感や、表情の豊かさを利用しながら、柔らかさを表現し、静と動の対比の中で得られる、静かな時の流れを感じられるように考えた作品です。

作品 「時のかけら I」
 素材 大理石、額
 サイズ H37cm×W42cm×D12cm

浜田修子 NOBUKO HAMADA

区切りの無い「かたち」と「色」と「空間構成」の
 3要素をどのレベルで共存させるか・・・

今の私の課題であり、ここからひとりひとりが自由に考えられる《感覚》《思い》を生み出す事が出来たらと思う。
 限られた空間内で外界と切り離れたイメージを表現したい。

作品 「やさしい距離感」
 素材 ミクストメディア
 サイズ H200cm×W375cm×D120cm(展示空間)



長谷川登 Noboru "Novol" Hasegawa

近年、自然エネルギーへの畏怖と憧れをテーマにすべての生命にとって絶対的な存在である太陽の光や月、水の流れなどを象徴として表現しています。

これらはすべての生命を等しく慈しみ育てる存在でありながら同時に冷酷で非情な面を見せつけたりします。

これまで形のイメージから導き出す展開図をもとに鉄板を加工して成立させるスタイルを基礎としてきましたが、新たな視覚的要素を加えるべく透明アクリルを用いた表現にも取り組んでいます。

作品 「Flare」
 素材 アクリル
 サイズ H44.5cm×W32cm×D22.3cm



協力 一般社団法人 日本美術家連盟